

## 医療機器の中央管理に必要な人員とスペースについて

渡辺 敏	北里大学保健衛生専門学院
小野 哲章	神奈川県立保健福祉大学
青木 郁香	日本医科大学付属病院
楠本 万里子	(財)日本看護協会
中野 壮陞	(財)医療機器センター
箭内 博行	(財)医療機器センター

平成 16 年度に実施された厚生労働科学研究「医療機関における医療機器の安全かつ適正な操作および保守方法に関する研究」において、医療機器の中央管理に必要な人員とスペースに関する調査を、医療機関の事務担当者と医療機器を実際に使用する医療関係者（看護師、臨床工学技士等）を対象に行ったので、その調査結果を報告する。

医療機器の中央管理に必要な人員（臨床工学技士）とスペースを表に示すが、100 病床当たりそれぞれ 1.5～1.8 名、40～45 m<sup>2</sup>であった。機器 100 台当たりでは、必要な人員とスペースはそれぞれ 1.9～2.8 名、54～58 m<sup>2</sup>であった。

今回の調査では、「医療機器の中央管理に必要な人員は？」という設問で尋ねたが、臨床工学技士の業務は医療機器の管理業務以外に、呼吸、循環、代謝等多岐の分野にわたっていること、医療機関での診療内容の違いにより人員とスペースが変わり得ることなどから、人員とスペースを決めることは容易ではないと思われる。ただ、今回の結果は、医療機器の中央管理を担当する臨床工学部門の人員とスペースを今後検討する際のひとつの目安になるとと思われる。

	名/100 病床	名/機器 100 台	m <sup>2</sup> /100 病床	m <sup>2</sup> /機器 100 台
事務担当者	1.5	1.9	43.0	54.0
機器使用者	1.8	2.8	40.7	57.8